

令和7年度 公共建築パネル展

開催報告

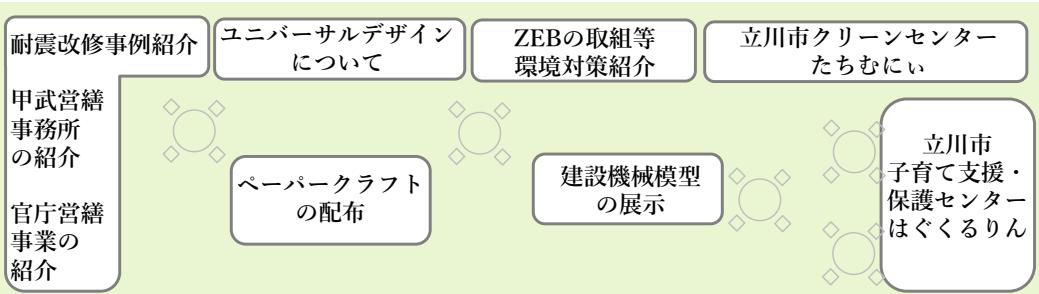
公共建築パネル展の概要

11月11日の「公共建築の日」にあわせ
甲武営繕事務所、立川市役所共同で
『公共建築パネル展』を開催し、
公共建築における環境への配慮、多様
な人たちのことを考慮した取組について
(ユニバーサルデザイン) 紹介して
います。

また、立川市からは、新たな公共施設
のご紹介がありました。

日時：2025年11月10日（月）～14日（金）
場所：立川市役所 1階多目的プラザ

展示レイアウト



会場の様子



開催案内ポスター



公共建築パネル展

一環境への配慮・人にやさしい建物づくり

期間 2025.11.10(月)～11.14(金)
10:30～17:00 (休館日 11月12日)

会場 立川市役所 1階 多目的プラザ

料金 入場料無料

主催者 立川市役所 (立川市総務部)

連絡先 立川市役所 (立川市総務部) 企画・PR課 (042-9201-1100)

主催者 立川市役所 (立川市総務部) 企画・PR課 (042-9201-1100)

主催者 立川市役所 (立川市総務部) 企画・PR課 (042-9201-1100)

一環境への配慮・人にやさしい建物づくり

ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインやバリアフリーの紹介を行いました。

官庁施設は、多様な人々の利用が想定されます。そのため、年齢や性別、身体的特徴等を問わず、誰もが簡単に操作し、快適に利用できるよう考える必要があります。一つの例として車いす使用者用トイレについて説明しています。

公共トイレにおける多様なユーザーへの配慮

車椅子使用者トイレ

○車椅子使用者トイレは、スムーズに通過できる出入口やトイレ内に自動扉ができる△への配慮が重要になります。また、便器への移動をサポートする手すりや座面を安定させる背もたれの設置も求められます。座位のバランスがとりにい身体状況の方の腰痛介助が必要な場合、介助者の負担を軽減するために大型ペットを設置します。

ポイント

- ①車椅子に乗って移動できる扉
- ②車椅子で回転できる空間
- ③手すりや背もたれの設置
- ④大型ペットの設置

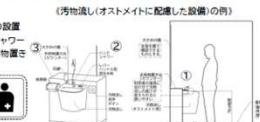


オストメイト用設備を有するトイレ

○大腸がん、膀胱がんなどの治療により、お腹の排泄のためのストーマ(人工肛門・人工肛門)を設置した人をオストメイトといいます。オストメイトはストーマ器具を装着することで手術前と同じように社会生活をおくことができますが、スムーズな排泄を阻むたる排泄物を定期的に処理する必要があります。そのため、立ったままの姿勢でストーマ器具から排泄物を出し、交接や着装、汚れた腹部を洗うための設備が設置されます。

ポイント

- ①立ったまま排泄処理ができる汚物洗浄の設備
- ②腹壁の汚れをストーマ器具をすくぐ温湯シャワー
- ③機器のケーブル等やストーマ器具を置ける小窓を設置
- ④身体にしなまきを整える鏡や着替え台

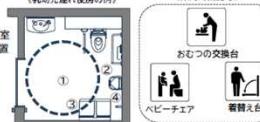


乳幼児用設備を有するトイレ

○乳幼児連れで外出時のトイレを利用する場合、ベビーカーごと入れる個室や月・年齢に応じた設備の設置が求められます。

ポイント

- ①ベビーカーごと入れるためのトイレ個室
- ②一般トイレ個室内のベビーチェア設置
- ③月例・年齢別に対応した設備(おむつ替えシートや着替え台)
- ④荷物置場やラックの設置



ZEB化

カーボンニュートラル実現に向けての公共建築におけるZEB化の取組紹介、LED照明の仕組みや導入メリットの紹介に合わせて、製造禁止になる蛍光灯からの切替の推奨を行いました。

立川市の公共施設の紹介

多世代が安全・安心に利用できる施設として、昨年度竣工した子育て支援・保健センター（愛称：はぐくるりん）と、熱の有効利用を行なうことで環境への配慮を行なっている立川市クリーンセンター（愛称：たちむにい）のご紹介がありました。

